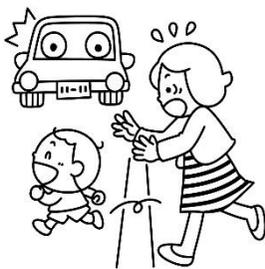


こまった こまった どうしよう…

<叱り方のコツ>

こんなことってないですか？

- 「ダメでしょ！！」「〇〇しなさい！」
- 「もう！何回言ったらわかるの!？」



いろいろ、教えなきゃ！良い子になってほしいな！
それだけなのに…。頑張ってるのに…。効果がないとつらいですね。
気づくと怒りすぎてしまったと自己嫌悪…。

伝え方にはいろいろあります

- 「見守る」…気持ちを受け止める。
ex. 「〇〇したかったんだね」「〇〇って思うんだね」
- 「教える」…どうしたらいいかを伝える。見本を見せる。
ex. 「箱の中に玩具を入れようね」「一緒にやろうね」
- 「制止する」…注意する。状況を伝える。
ex. 「アツイアツイだよ」「おともだちが使ってるね」

他に配慮できることってあるのかな？

- ◆ 環境を整える：原因が明確なものは隠して見えなくする
ex. 触ってほしくない物は高いところに置く

どう伝えるといいのかな？

- ◆ 行動に注目しよう・・・〇〇ちゃんの行動が△△なんだよ
ex. 「走らないよ。歩こうね」
- ◆ その場で伝えよう・・・状況が変わると覚えていられないかも!？
後から叱られても、子どもはわからない。
- ◆ 一貫性を持とう・・・家では叱られ、お外では叱られない。何が
良いことで悪いことなのかわからない。

※ 伝える時に注意すること

子ども自身を否定する言葉は避けましょう

ex. 「〇〇ちゃんはダメな子ね!」「大キライよ!」

→子どもの自尊心を傷つけてしまいます…

何度伝えてもわかってもらえないと感情的になってしまうこと
もありますよね。お母さんのストレス発散も大事です。



「叱る」ことは「伝える」ことのひとつ。

笑顔で楽しく毎日を過ごせるように、他の場面で褒めたい可愛がる
ことで、「あなたのことが大事だよ」と伝えていきましょう。